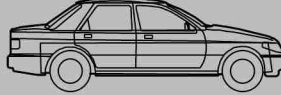
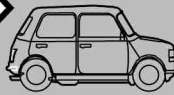


適合車は

軽自動車

中型乗用車

ワンボックス/
ディーゼル車



使用不可の車は

トラクター

大型乗用車/
外車/RV車

2tトラック

4tトラック



12V車用
ボルト

電線仕様 (8.8mm²)
バッテリー1個搭載車

順番につなぐだけ!

突然のバッテリーあがり時の **緊急ケーブル**

**普通車~ミニバン、
ワンボックス車に最適!**

軽自動車から普通自動車(2500ccクラスまで)

※使用の際には 救援車の種類/バッテリーサイズにもご注意ください。

■つなぎ順番タグ付き

この状態で使える



① 赤色のブースターケーブルを故障車のバッテリーの ⊕ 端子につなぐ。
② 赤色のブースターケーブルのもう一方の端を救援車のバッテリーの ⊕ 端子につなぐ。
③ 黒色のブースターケーブルをバッテリーの ⊖ 端子につなぐ。
④ 黒色のブースターケーブルのもう一方の端を未塗装の金属部につなぐ。



イメージ写真

故障車

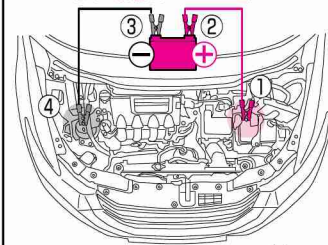
表示番号順につなぐだけ

救援車

イメージ写真

取扱説明 (ご使用になる前によくお読みください)

他車 (救援車/バッテリー)



ブースターケーブルのつなぎ順

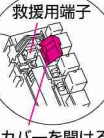
- ① 赤色のブースターケーブルを故障車のバッテリーの ⊕ 端子につなぐ。
- ② 赤色のブースターケーブルのもう一方の端を救援車のバッテリーの ⊕ 端子につなぐ。
- ③ 黒色のブースターケーブルをバッテリーの ⊖ 端子につなぐ。
- ④ 黒色のブースターケーブルのもう一方の端を未塗装の金属部につなぐ。

ハイブリッド車

リレーブロック



救援用端子



ハイブリッド車には、補機バッテリーがトランクルーム内に設置されている車種があります。(プリウスなど) バッテリートランプによるエンジンスタート困難時は、エンジンルーム内の救援用端子に接続する必要があります。

ご注意

- 業務用には使用しないでください。
- 100A・120Aについては、ハイブリッド車への使用はブースタークリップの大きさにより使用できない場合があります。
- ハイブリッド車の駆動用バッテリーへのブーストは使用できません。
- 車に合ったブースターケーブルをご使用ください。(容量の小さいブースターケーブルをご使用になりますと、エンジンがかからなかったり電線・クリップカバーが発熱、発煙、溶解等して危険です。又、バッテリーの状態により、かからない場合もあります。) バッテリー容量が同じかそれ以上の救援車を選んでください。
- 屋内では絶対に使用しないでください。
- 電圧(ボルト)の異なる車には、絶対接続しないでください。
- 接続作業中、誤接続(取扱説明以外の接続)・ショート(赤クリップと黒クリップの接触)は絶対にしないでください。バッテリーから発生する可燃性ガスに引火して爆発するおそれがあります。
- 接続作業中、クリップを車のボデーに接触させないでください。
- 電線・クリップ・クリップカバーに破損・腐蝕がないか点検してください。
- クリップは、使用中に外れない様、しっかり接続してください。
- ブースターケーブル接続後、エンジンをスタートする際、接続部周辺に人がいない事を必ず確認してください。
- ご使用中、火気に近づけたり引火しやすい物の側で絶対に使用しないでください。バッテリーが爆発するおそれがあります。
- 右記「使用方法」①～④の項目(通電3秒以下、休止7秒以上、繰り返し回数10回以下)以上の長時間、多回数のご使用は電線、クリップ、クリップカバーが発熱、発煙、溶解等して危険です。ご使用後やからぬ場合、電線、クリップ、クリップカバーが冷却してから取り外してください。
- 本製品に定められた目的での使用は絶対に止めてください。
- ブースターケーブルが冷却ファンやファンベルトに巻き込まれない様に接続は充分ご注意ください。

使用方法

- ① 救援車、故障車のエンジンが停止しているか確認してください。
- ② ブースターケーブルを正しい順序で正しく接続してください。(左回参照)
- ③ ブースターケーブルのクリップが容易に外れない事を確認してください。
- ④ 救援車のエンジンを始動(スタート)させてください。(エンジン回転を少し高めにしてください)
- ⑤ 故障車のエンジンを始動(スタート)する前に、この状態で5分~10分の補充電をお勧めします。
※補充電時間が長ければ長いほど、エンジン始動がしやすくなります。
- ⑥ 故障車のエンジンキーを3秒弱回してください。エンジンが始動(スタート)しない場合は、7秒間以上休止して、再度行ってください。
- ⑦ 上記作業を10回行ってもエンジンが始動しない場合は、ブースターケーブルの使用を止め、容量の大きいブースターケーブルに変えるか、他の故障原因を調べてください。
- ⑧ ブースターケーブルの取り外しは、ブースターケーブルが冷却しているのを確認して、接続と逆の順序で取り外してください。
- ⑨ 故障車のエンジンがかかりましたら、エンジンを切らずにそのまま走行してください。

大自工業株式会社

〒582-0027 大阪府柏原市円明町1000-126
TEL.072-976-0101 (代)
http://www.daiji.co.jp/ Eメール:info@daiji.co.jp

MADE IN CHINA